

一、課題内容・・・「笑うから楽しい2」(p45～47)

二、提出方法・・・次回登校する時に提出

三、準備物・・・教科書、国語帳、筆記用具

四、課題の進め方・・・できた番号には○をつけましょう。

① ノートに日付、ページ、学習タイトル、めあてを書きましょう。今日のめあては二つあります。まず、めあて1は「筆者が二つの事例を挙げた意図を考えよう」です。

② 筆者がなぜ「中」で二つの事例を取り上げたのか考えながら教科書p46～47を音読しましょう。

③ 次に、1段落と4段落だけを音読してみよう。

④ ノートに「自分の考え」3, 4段落の事例がなかったら読み手はどう感じると思うかを書きましょう。

⑤ ノートに「自分の考え」もし事例が一つだけだったら読み手はどう感じると思うかを書きましょう。

⑥ できる人は、ノートに「自分の考え」もし事例の順番が逆だったら読み手はどう感じると思うかを書きましょう。

五、今日の2つ目のめあてを書きましょう。めあて2は「自分の経験を振り返りながら感想を書こう」です。めあて2を書いた後に感想を書きましょう。

六、「笑うから楽しい」の内容や、昨日今日まとめたノートを見せながら自分の考えを家の人に話せたらよりますばらしいです。

七、1～プリ6・7をして○付けましょう。

6からは以前配ったプリント集に入っていない人は、タブレットなどの画面を見てノートに書きます。終わったら、必ず、☆マークを押しましょう。

唐櫃小学校ホームページ↓みんなの学習クラブ(ねこ)↓小学国語↓6年↓

5 笑うから楽しい↓1 笑うから楽しい↓

問題を解く・ノートに写してする人は問題番号と()の中に入る言葉だけでいいよ↓

上の方の**解答**を押す↓○付け↓☆マークを押す↓上の方の**次のプリント**を押す

解答欄にも例と書いてあるように、だいたい同じようなことがかけていけば○です。心配な人は家の人に確認してもらってもいいです。

今日の課題は、真剣に取り組んでいる人ほど難しく感じるかもしれませんが、普段なら、みんなで考え、意見を出し合っているうちに自分の考えがうまれたり、まとまったりしていきまね。それが、みんなが学習する良さだと先生たちも信じています。でも、今はそれができません。困難な状況ですが、昨年から言われていた「主体的に学ぶ」「まず個々で考える」に磨きをかけてほしいと思います。

一、課題内容・・・「時計の時間と心の時間1」(教科書 p48～56)

二、提出方法・・・次回登校する時に提出

三、準備物・・・教科書・国語帳・筆記用具・できれば国語辞典(使い方は3年時学習済み)(電子辞書等)

四、課題の進め方・できた番号には○をつけましょう。

- ① ノートに日付、ページ、学習タイトル、めあてを書きましょう。今日のめあては「主張と事例に気を付けて文章全体の構成と大体の内容を読もう」です。
- ② ノートに「時間といわれて思いつくこと」を書きましょう。何でもいいです。
- ③ 教科書 p48～53を音読し、教科書に段落を書き込みましょう。8段落あれば、正しくつけることができます。
- ④ 「分からない語句の意味調べ」をしてノートに書きましょう。
次の語句の意味を言葉で説明できなければ、必ず調べます。
・特性・効果・平均・傾向・意図・構成・共感・納得
- ⑤ 「初めて読んだ感想」を5行以上書きましょう。
- ⑥ 次のようにノートに段落ごとの要点を分かりやすくまとめていきましょう。

			はじめ・中・おわりを書こう							段落
8	7	6	5	4	3	2	1			段落の役割と要点
要点 ()	段落の役割 (主張)	要点 ()	段落の役割 (事例 4)	要点 ()	段落の役割 (事例 3)	要点 ()	段落の役割 (用語の定義)	要点 ()	段落の役割 (話題・主張)	
	要点 ()	段落の役割 (事例 4)	要点 ()	段落の役割 (事例 2)	要点 ()	段落の役割 (事例 1)				
		要点 ()	段落の役割 (事例 3)	要点 ()	段落の役割 (事例 2)	要点 ()	段落の役割 (事例 1)			
			要点 ()	段落の役割 (事例 2)	要点 ()	段落の役割 (事例 1)				
				要点 ()	段落の役割 (事例 1)					
					要点 ()					
						要点 ()				
							要点 ()			
								要点 ()		
									要点 ()	
										要点 ()

五、「笑うから楽しい」と比べて感じたことを「今日の学習のまとめ」に書きましょう。

- 一、課題内容・・・「時計の時間と心の時間2」(p48～56)
- 二、提出方法・・・次回登校する時に提出
- 三、準備物・・・教科書、国語帳、筆記用具
- 四、課題の進め方・・・できた番号には○をつけましょう。

- ① ノートに日付、ページ、学習タイトル、めあてを書きましよう。今日のめあては、「筆者が挙げた事例の意図を考えよう」です。
- ② 一文で言うとしたらどんな事例が書かれているか、考えながら音読してみましよう。(三段落～六段落)
- ③ 段落ごとにノートにまとめてみましよう。

〈心の時間の特性〉

- 三段落・・・その人がそのときに行っていることをどう感じているかによって、進み方が変わる
- 四段落・・・() によっても、進み方が変わる。
- 五段落・・・() によっても、進み方が変わる。
- 六段落・・・() によっても、感覚が異なる。

- ④ 〈共感できる特性〉について、書いてみましよう。

【例】 私(二組担任)は、六段落の() によつて、感覚が異なる特性に共感できます。皆さんも知つての通り、一組の○○先生は私と比べるとかなり早口です。楽しいおしゃべりが機関銃のように飛び出していきます。同じ学年になってから気付いたのですが、歩くスピードも、仕事のペースもとても速く、会話と同じなのです。人によつて心の時間は感覚が異なるのですね。

さあ、みんなも書いてみましよう。

本ならここでみんなと体験談を話し合えたら盛り上がったでしょう。いろんなエピソード、聞き取ったなあ。できる人は家の人と盛り上がってください。

- 五、筆者がなぜ四つも事例を挙げて説明をしたのかを考え、〈今日の学習のまとめ〉を書きましよう。
- 六、次の時間は、筆者の主張について自分の考えをまとめていきます。

- 一、課題内容・・・「時計の時間と心の時間3」(p48～56)
- 二、提出方法・・・次回登校する時に提出
- 三、準備物・・・教科書、国語帳、筆記用具
- 四、課題の進め方・できた番号には○をつけましょう。

① ノートに日付、ページ、学習タイトル、めあてを書きましよう。今日のめあては、「筆者の主張について自分の考えをまとめよう」です。

② 筆者の主張にあたる本文にサイドライン(黒線を引く)を引きながら、黙読しましょう。(p48～57)

③ 《筆者の主張》次のヒントを見ないで書けると良いです。難しかった人はヒントを使いましょう。
・生活の中で()の時間にも目を向けることが大切だ。

・()の時間を頭に入れて、()の時間を道具として使う、時間と付き合う()が必要。

④ 筆者の言う〈時間と付き合う知恵とは〉どんなことでしょう。身近な例を書いてみましょう。

【例】(はじめに心の時間で失敗したことを書く)

私はいつも歯医者さんに教えてもらった通りに歯磨きをしようと心がけています。同じ手順なのでかかる時間は朝も昼も夜も同じだと思ひ込んでいました。ところが先日の朝、気付くともとても長い間、歯磨きをしてしまつて遅刻しそうになりました。

〈事例のある段落も入れてどうしてそうだったのか書く〉

四段落にあつたように、昼に比べて、朝は動きが悪く時間がかかつてしまったのでしよう。

(時間とうまく付き合つていく知恵を書く・参考になればと思ひ何例も挙げましたが、文章的には二例までにとどめる方がよいでしょう)

これからは、同じ手順でも朝は時間がかかることを意識して早めに行動したり、起床時刻を早めたり、時計の時間を知らせてくれるようなタイマーを利用したりして、時間とうまく付き合つていきたいです。また、○先生のように昼に歯磨きをするとすばやくできて、短時間でも効果がありそうなので試してみたいです。

五、次の時間は、説得力をもたせる話し方のこつを勉強していきます。

一、課題内容・・・「主張と事例1」(p57)

二、提出方法・・・次回登校する時に提出

三、準備物・・・教科書、国語帳、筆記用具

四、課題の進め方・できた番号には○をつけましょう。

① ノートに日付、ページ、学習タイトル、めあてを書きましよう。今日のめあては「主張と事例の関係を
使って、より説得力をもたせる話し方をししよう」です。

② 教科書57ページを音読しましよう。

③ ふきだしを読んで考えましよう。あなたは次のどの話し方に説得力を感じますか。

ア 主張だけ

イ 主張+理由

ウ 主張+理由+事例

まあ、ここまで勉強してきたら当然ウですよ。しかも、たくさんの人が「いいね」といつてくれそう
な事例がいいですよ。

④ 昼休みは長い方がいいか、短い方がいいか主張と事例の関係を明らかにして、まずノートに構成を書き
ましよう。

主張			
昼休みは（短い・長い）方がいいと思います。			
↑			
事例からわかること			
↑ ↑ ↑ ↑			
事例	事例	事例	事例

⑤ 構成をもとにして家の人に話してみましよう。

五、めあてを振り返り、〈今日の学習のまとめ〉を書きましよう。